

訂正等のお知らせ

2021年9月
環境省生物多様性センター

モニタリングサイト 1000 里地調査に関する公開成果物に一部誤りがございました。誤りがあった公開成果物は、「平成 30 年度モニタリングサイト 1000 里地調査報告書」、「2019 年度モニタリングサイト 1000 里地調査報告書」、「モニタリングサイト 1000 里地調査 2005-2017 年度とりまとめ報告書」、「モニタリングサイト 1000 第 3 期とりまとめ報告書概要版パンフレット」の 4 つの公開成果物となります。お詫びするとともに以下のとおり訂正いたします。

【訂正内容】

○ [平成 30 年度モニタリングサイト 1000 里地調査報告書](#)

訂正点：チョウ類の個体数の経年変化傾向について、データ集計に誤りがありました。

それに伴い、「分布北限が南にある種ほど、1 年あたりの個体数増加率が高くなる傾向」や「南方系チョウ類 6 種及びイシガケチョウ、ムラサキツバメの記録個体数の経年的な全国傾向が増加傾向にある」という全体傾向に間違いはありませんが、各種の個体数増減率等の数値、種の表記順序などについて、訂正しました。 ([正誤表](#))

○ [2019 年度モニタリングサイト 1000 里地調査報告書](#)

訂正点：チョウ類の個体数の経年変化傾向、及び鳥類の個体数の経年変化傾向について、データ集計に誤りがありました。それに伴い、チョウ類に関しては「分布北限が南にある種ほど、1 年あたりの個体数増加率が高くなる傾向」や「南方系チョウ類 6 種及びイシガケチョウ、ムラサキツバメの記録個体数の経年的な全国傾向が増加傾向にある」という全体傾向に間違いはありませんが、各種の個体数増減率等の数値、種の表記順序などについて、訂正しました。

また鳥類に関しては本文の修正はありませんが、付表に関して各種の個体数増減率等の数値、種の表記順序などについて、訂正しました。 ([正誤表](#))

○ [モニタリングサイト 1000 里地調査 2005-2017 年度とりまとめ報告書](#)

訂正点：チョウ類の個体数の経年変化傾向、及び鳥類の個体数の経年変化傾向について、データ集計に誤りがありました。それに伴い、チョウ類について、絶滅危惧種の判定基準にある減少率に相当するほど急速に減少している種数について、調査したチョウ類の「約 4 割」としていたところ「約 1/3」に訂正しました。それ以外の内容について、全体傾向に間違いはありませんが、各種の個体数増減率等の数値、種の表記順序などについて、訂正しました。

また、鳥類について記録種数(175 種→241 種)に誤りがありました。そのため、個体数増減率別の種特性(ハビタット、渡り性、分布範囲、食性)を比較した出現頻度の高い鳥類種数(73 種→91 種)も訂正しました。全体傾向等に間違いはありませんが、関連する図や、各種の個体数増減率等の数値、種の表記順序などについて、訂正しました。 ([正誤表](#))

○ [モニタリングサイト 1000 第 3 期とりまとめ報告書概要版パンフレット](#)

訂正点：チョウ類の個体数の経年変化傾向について、データ集計に誤りがありました。

それに伴い、「全国でよく見られるチョウ類 87 種の各種ごとの 1 年間の個体数増減率の内訳」の図を修正すると共に、10 年間で 30%以上となるほどの減少が見られた種について、約 1/3 の種として訂正しました。 ([正誤表](#))